2012 年 9 月 15 日
RSSC ウィメンズクラブ

活　動　記　録　（2012-No.8）

日　時	2012 年　9 月 10 日　10 時～13 時
場　所	セントポールズ会館　２階
出席者	１７名　　（会員１２名　会員外５名）

「元始、女性は太陽であったー平塚らいてうの生涯」DVD 鑑賞会

6 月の合宿における「らいてうの生き方」研究の続きとして、らいてうの生涯を理解するための映画鑑賞会をウィメンズクラブの会員のみならず、関心をお持ちの方々にも声を掛けて開催した。

この映画は、女性の解放と世界の平和のために真摯に生きた平塚らいてうを、ドキュメンタリー映画の第一人者、羽田澄子監督が描いた作品で、「青鞜」創刊１００周年記念に向けて東京女性財団の助成を受けて製作されたもの。

2 時間に亘る長編で、らいてうの生涯を丁寧に追っており、活動報告 No.6 で記された「らいてうの家」館長・米田佳代子さんのお話をより深く理解する格好の教材となった。

日本女子大に在学中に禅の見性を得て後、らいてう自らの芯となる生き方、考え方を確立させ、その後は自らが、思うまま・感じるままに発言し、行動して行く「強く新しい女」として位置づけられたが、戦争などもあり、社会の変化、時代の流れとともに、自らと社会的評価との間に齟齬が生じている。結婚・出産して後は、終生、特に子どもたちの為に「人が人として生きられる”人権”と”平和”」に向けた多くのメッセージを発し続け、1971 年がんのため 85 歳で没した。

DVD 鑑賞の後、３０分ほどであったが活発な意見交換がなされた。

＊らいてうが影響を受けたエレン・ケイについて内藤さんから補足説明。

＊らいてうの生き方に賛否いろいろあるものの、らいてうは何と言っても日本の女性運動の原点であることから、このテーマを取り上げたことは意義あると思う。

＊米田佳代子館長から伺ったらいてうの言葉

「生きることは、行動すること」「激しく思うこと」「行き着く所までやってみる」

などを改めて思った。

●９月１２日　藤沢市にある NPO 法人グループ藤による複合福祉型マンション訪問（深野さん他）。報告は 11 月 12 日（月）13 時からセントポールズ会館にて予定の例会にて。

●次回１０月の予定

１０月２１日　ホームカミングデーでのバザー出店（RSSC 同窓会、アジアの貧困・NPO/NGO 支援研究会との共催）　詳細は追ってメールで。

以上　（文責　北澤）